

かほだより

島根県の死亡野鳥（コブハクチョウ）で インフルエンザ簡易検査陽性反応

11月5日に島根県松江市で回収されたコブハクチョウ1羽の死亡個体で、島根県が簡易検査を実施したところ、A型インフルエンザウイルス陽性反応が確認されました。

確定検査（ウイルス分離等）はこれから鳥取大学で実施される予定です。

昨年に引き続き、本年も野鳥での流行が懸念されます。鶏舎の状況や衛生管理をご確認いただき、引き続きウイルスの侵入防止対策を徹底しましょう。

予防対策の重要ポイント



① 人・物・車両によるウイルスの持ち込み防止

- ・ 衛生管理区域、家きん舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- ・ 衛生管理区域専用の衣服、靴、家きん舎ごとの専用の靴の使用
- ・ 上記措置の記録

② 野生動物対策

- ・ 防鳥ネットの設置・修繕、壁の破損・隙間の修繕
- ・ 家きん舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・ 上記措置の定期点検